

報告日：2023年5月26日  
所属名：保育事業部  
報告者：事業責任者 瀬尾 季子

## 2022年度 保育事業報告

### <利用者状況>

年度後半、新型コロナウイルス感染状況が落ち着き、行事の通常開催が可能になりました。年度末卒園した園児は3～5歳期の幼児期がコロナ禍であったため、多くの行事が中止・縮小され、保育園での活動が制限された年代です。保護者も状況が状況だけに致し方ないと思いつつも、行事を通して子どもの成長が見たいという気持ちが本音だったと推察します。そのため、マスク制限が解除された卒園式は「マスクを外して笑顔で写真が撮れてよかった」と声を揃えて喜んだ姿は昨年度末ならではの光景だと感じます。

給食業務委託事業者の選定を5年ごとに実施しておりますが、2022年度は大原、小茂根の2園が現委託事業者の見直し時期を迎え選考会を行いました。選考会の結果、2園ともにサンフラワー・A株式会社の継続が決定しました。

### <2023年度4月入所状況>

2023年4月1日の園児数は、大原32名、小茂根54名、志村54名、城山58名、東雲84名、豊洲89名、有明103名、有明の森106名、合計580名（総定員数636名）です。未充足が目立つは主に3～5歳児クラスですが、0～2歳児の空きも増えてきています。今後は更に少子が進み定員未充足が加速、保育業界全体が園児獲得競争へと変化していきますので、当事業部も入園希望者を増やすべく、園の特色作りを進め SNS で発信しながら入園者の獲得に努めていますが、なかなか成果に結びつきません。選ばれる保育園になるためには、広報と合わせて保護者との信頼関係を築き、在園保護者から親近者へ、そして地域へと口コミが広がることを選ばれる園になるための近道だと確信しています。

### <職員状況について>

静岡県裾野市の保育園で起きた不適切保育を受けて、保育事業部8園全園が子どもの人権に関する研修や全国保育士会から発行されているチェックリストを用いて振り返りを実施しました。不適切保育の要因は、職員一人ひとりの心の余裕の幅と、チームワーク力だと考えます。この2つが欠けると不適切な保育になりやすいことから、職員同士、互いの行動をみておかしいと感じ時には、声を出して伝えあえる風通しの良いチームのなること、また、自分だけとは思わず、困ったこと・手を貸してほしいことなどを共有しコミュニケーションが図れるチームでありたいと考えます。新年度は新たなメンバーが加わり、チーム編成が変わる園もあります。今回の研修内容を活かして、風通しの良いチームを作り、園児・保護者・職員にとって、安心できる場作りをしていくこと、そして何より職員の心身の負担軽減が重要と捉えておりますので、更なる職員配置充足を図る採用活動を継続してまいります。

## ひまわりキッズガーデン大原

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員		有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計
		常勤	非常勤				常勤		非常勤				常勤	非常勤	
					就	退	就	退	就	退					
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
副園長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
保育士	5	4	3	12	1	2	0	0	0	1	-2	5(1)	4	2	11
看護師	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
嘱託医	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	8	4	4	16	2	2	0	0	0	1	-1	9	4	4	16

## 【施設運営状況】

- 新入園児6名を迎え定員でのスタートとなりました。2021年度までは一次募集で定員が埋まっていたのですが、2022年度は、二次募集で定員が埋まりました。育児休暇の延長や少子化の影響が出始めている事を感じ、2022年度は園児獲得のため、地域に大原の保育の良さを伝えるべく、地域活動に励んで参りました。少人数という特徴を生かし、子ども達が「やりたい・やってみたい」事に主体的に取り組めるよう、子ども達が自ら考えて行動する姿を大切に、保育者の関わりや環境等、リーダー層を中心に職員に働きかけてきました。保育の中で子ども達がよく行なっている“ごっこ遊び”を地域活動として取り入れ、作った物を近隣の公園で地域の方に配る等、職員だけでなく、子どもも一緒に地域活動に参加する事で、地域の方と触れ合う機会を持ちました。今後も大原の園の良さを伝えられるよう、活動を継続したいと考えております。

## 【利用者支援状況】

- 新型コロナウイルスの感染対策を引き続き行ないながらも、対面での保護者会や5歳児の親子遠足、姉妹園との運動会、乳児クラスの親子触れ合い遊び、一日保育士体験等、園での行事も少しずつ以前の形式へと戻りつつあります。保護者会や行事のアンケートを都度取っていますが、満足度が高い回答が多く見られています。特に子どもの様子を映像や写真でお知らせすると、そこへの評価が高く、コドモン（配信アプリ）での日々の様子の配信等、保護者からわかりやすいとの声も多くいただいております。

**【施設整備状況】**

- ・ トイレクリーニング
- ・ エアコンクリーニング
- ・ 玄関横収納庫修繕
- ・ 排水用ポンプ工事

**【年間利用状況】** (各月月初人員) 定員 36名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18
女児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	215	17.92
計	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	431	35.92

**【利用者状況推移】** (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	6	6	6	6	6	6	36
R3年度	6	6	6	6	6	6	36
R4年度	5	6	6	6	6	6	35

**【主なできごと】****月例 誕生日会・避難訓練**

- 4月：入園進級お祝い会（新入園児・保護者と幼児クラス）
- 5月：保護者会・こどもの日
- 6月：個別面談（全クラス）
- 7月：七夕
- 8月：一日特別保育（5歳児）
- 9月：保護者会、親子稲刈り遠足（5歳児）・地域向けごっこ遊び
- 10月：3園合同運動会（3、4、5歳児）・地域向けごっこ遊び
- 11月：個別面談（全クラス）
- 12月：お遊戯会（幼児クラス）・クリスマス会・もちつき会
- 1月：個別面談（5歳児）
- 2月：保護者会・節分集会・お店屋さんごっこ
- 3月：ひなまつりの会・保護者会（5歳児）・お別れ会・お別れ遠足（5歳児）・卒園式

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)	対応及び解決方法
1件	2歳児保護者 登園後、お茶を飲む際にコップが重なっており、コップが容易に外せないで、コップの中に手を入れないと外せないことがある。それを幼児クラスの子が外してくれる場面もあるが、不衛生に感じる。	ご意見後、すぐに職員間で話し合い、コップはこちらで1個ずつ外してケースに収納するように改善した。保護者の方にも伝え、納得して頂けた。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

9月 引き渡し訓練の実施

## ● 健康管理

園児：毎月 乳児健診、年2回 全園児健診、年2回 歯科検診、毎月 身体測定（0歳児2回）

職員：年1回 定期健康診断・インフルエンザ予防接種、毎月 細菌検査の実施、

健康管理には最善の注意を払い、感染症の発症についてはコドモン配信・掲示にて保護者に連絡  
コロナウイルスが流行し始めた際には、玄関の手指消毒を再度徹底するよう保護者に呼びかけ、  
入室前の手指消毒（アルコールを使用）を徹底している。保育中、感染症予防のため、マスクを着用する。新型コロナウイルス予防接種(任意)

## ● 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を実施。

保育室及び玩具等の消毒、コロナウイルスの対策として施設の消毒状況を徹底する。

室内害虫駆除及びネズミ駆除（年2回）

オゾン発生器設置（新型コロナウイルス感染症対策、空気清浄効果）

## ● 安全管理

施設設備点検（月1回）

保育環境の整備（施設内の壊れ修繕、安全クッション、ガードの設置）

事故防止：メッセージグレード、ヒヤリハットを活用した再発防止・ケース検討

SIDSの防止（午睡時睡眠チェック）

不審者対応訓練（年1～2回）

## ② 地域交流

- ・ 入園前の園見学随時実施
- ・ 育児講座、保育所体験の開催。園内の様子や園児が過ごしている様子を見てもらい、園の良さを感じてもらう機会を作る。地域の子育て家庭が複数参加し、数回訪れる家庭もあった。
- ・ 地域の児童館、図書館等に園長や職員が出向き、園のイベントの案内の掲示・配付。

③ 実習生・ボランティア

- ・ 職業体験（志村第二中学校・志村第四中学校2校・4名） ・ 保育実習（1校・1名）
- 職場体験・・・練馬工業高校（1名）
- 実習校・・・日本ウェルネス専門学校（1名）

④ 第三者評価受審

保護者分の回収率が89%となり、大変満足と満足で100%という結果であった。

小規模での異年齢交流、姉妹園との交流、職員の対応、配信アプリでの配信等で子ども達の様子がわかりやすいなど、評価する意見が寄せられた。改善点や質問点については、園だよりにて回答するなど対応している。

## ひまわりキッズガーデン小茂根

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任							令和5年4月1日の職員数				
	内 休 業 職 員	正 規 職 員	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	内 休 業 職 員	正 規 職 員	有期契約 職員		実 人 員 合 計
			常 勤	非 常 勤			常勤		非常勤					常 勤	非 常 勤	
							就	退	就	退						
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
副園長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
保育士	7	3	3	13	0	2	0	0	1	0	-1	6	5	2	13	
看護師	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
嘱託医	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	10	4	4	18	0	2	0	0	1	0	-1	9	6	3	18	

## 【施設運営状況】

2022年度は新卒者2名が入職したものの、大きな組織体制に変更なく開始致しました。前年度を土台に、すでに定着している“パートナー制度”を継続し一人ひとりへのサポート体制を整えることで、職員は安心して自らの役割を果たす事が出来ました。

また日常保育や行事において、これまで以上に主体性を育める環境を工夫して参りました。“大きなお家のような保育園”をキーワードに、子ども自らが居場所や遊びを選べる環境を目指し、クラスの垣根を越えた異年齢児保育が日常となっています。中でも『こもね食堂』では、オープンとラストオーダーの中で子どもが自由に時間を選び食事をする、正に食堂のようなスタイルが確立されました。保護者からは家庭でも主体性が育まれたことを実感する声が聞かれました。

更に、保育の専門性を利用者だけでなく地域にも還元したいと考え、繋がりを広げて参りました。子育て世帯に向けた保育所体験や育児講座では、単に子育てのヒントを得る場ではなく何度も通いたくなる場所として認知され、多くのリピーターの皆様が訪れ、入園希望にも繋がりました。図書館や児童館、中学校やあいキッズ等、地域の事業所との連携も強化させ、作品展示や講演出演等も取り組みはじめています。事業所同士が支え合うことで地域活性化に繋がるよう、今後も取り組みを継続させて参ります。

**【利用者支援状況】**

これまで縮小していた行事について、感染症対策を講じながら再開や拡大を進めることで保護者からは子育て協働を実感する声を頂きました。保護者が日常保育に参加する『保育参加』では、決まった日程を設定せず、いつでも自由に参加頂けるよう柔軟に対応致しました。そうすることで参加家庭が増え、実際に保育者の関わりや大切にしている保育の考えを直接伝える場が出来、共感頂くことも増えたように感じます。

保育内容への興味が深まると、「もっと保育者や保護者同士で話したい」との声を頂くようになり、クラスの垣根を越えた『保護者座談会』を開始致しました。子育ての悩みだけでなく、保護者自身の話をする自由な場とすることで、すぐに次回開催の希望が出るほど盛況となりました。園運営への興味関心が高まるとともに、ますます行事参加率も高まっています。

**【施設整備状況】**

- ・ トイレ洗浄
- ・ エレベーター修理
- ・ 1階エアコン交換工事
- ・ ガス乾燥機設置
- ・ 流し台パッキン修理
- ・ 固定電話新設置

**【年間利用状況】** (各月月初人員) 定員 65名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	29	28	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	327	27.25
女児	32	32	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	393	32.75
計	61	60	59	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720	60

**【利用者状況推移】** (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	6	7	7	14	15	15	64
R3年度	6	6	7	15	15	15	64
R4年度	6	7	7	10	15	15	60

## 【主なできごと】

## 月例 誕生お祝い会（クラスごと）・避難訓練

- 4月：入園・進級お祝い会  
 5月：こどもの日の集い  
 6月：個別面談  
 7月：七夕集会・お楽しみDAY（5歳児特別保育）・卒園児交流  
 8月：縁日ごっこ  
 9月：引き渡し訓練・保護者会  
 10月：運動会  
 11月：個別面談  
 12月：クリスマス会・餅つき会  
 1月：お遊戯会・個別面談（5歳児）  
 2月：節分集会・お店屋さんごっこ  
 3月：ひな祭り集会・卒園式・お別れ会

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
1件	<p>保護者</p> <p>3歳児保護者より、「我が子に対する保育者の関わり方に不安を感じる」というご意見を頂く。</p> <p>家庭内で児から「職員に注意された際、腕を掴まれ痛かった」、卒園児である姉が迎えに同伴した際、「職員に抱きしめられて痛かった」等と話していたとのことがあり、園長との面談を希望された。</p>	<p>園内での事実確認の後、保護者の希望通り園長が面談を実施した。</p> <p>まずは園児や保護者に痛い思い、不安な思いをさせてしまったことを丁重にお詫びする。腕を掴まれたことに関しては、他児とのトラブル時、安全を確保するため思わず掴んでしまった事、卒園児を抱きしめた事に関しては、再会の喜びから感情的になってしまった事実を伝えた。</p> <p>無自覚であるにしろ、最終的に「痛かった」「嫌だった」という印象が残ってしまっている時点で適切な保育とは言えない。行動を止める際は、腕や足、洋服を掴むことはせず、自らの体を使って前進を妨げ、手を出す相手の側に付く。また、子どもが求めているのに、抱き着く等のスキンシップは求めない。たとえ愛着からの行動であっても、職員の欲求でスキンシップを求めない。</p> <p>以上のことを当該職員だけでなく全職員で共有し再発防止に繋げる旨を説明差し上げた。対応内容を聞き保護者は安心された様子であった。</p> <p>ご意見を頂く以前より、保護者と職員の座談会等にご参加頂き様々な意見交換を行ってきた家庭であった。昨今『不適切保育』が話題に挙がっていることから情報提供を頂いた背景があった。面談後も継続してコミュニケーションを深め、時に意見交換を行いながら良好な関係性を継続している。</p>

## 【その他】

### ① 安全管理

#### ●防災訓練

- ・ 毎月1回避難訓練・消火訓練・通報訓練を実施した。年1回園児引渡し訓練を実施した。
- ・ その他、地域消防署や警察署と連携し、AED講習や不審者対応訓練を実施した。

#### ●健康管理

- ・ 0歳児は月1回、1歳児以上は年2回健康診断を実施した。
- ・ 歯科検診を年2回実施した。
- ・ 職員の健康診断を年1回、インフルエンザ予防接種を実施した。
- ・ 細菌検査を毎月実施した。
- ・ 健康管理には最善の注意を払い、感染症が発症した際は掲示や配信で保護者に知らせた。

#### ●衛生管理

- ・ アルコールを使用して来園者に手指消毒と検温を行った。
- ・ 園内の掃除や子どもが使用する玩具の消毒には電解水を活用し衛生管理を行った。
- ・ 感染症予防のため、必要に応じてアルコールを使った園内、備品の消毒を行った。

#### ●安全管理

- ・ ヒヤリハット、メッセージグレードを活用し、再発防止に努めた。
- ・ 午睡時の睡眠チェックを実施(SIDS防止)した。
- ・ 保育所内外の安全点検を月1回実施した。
- ・ 建物、設備点検を業者に依頼し実施した。

### ② 地域交流

- ・ 入園希望者の見学は感染症対策を講じながら、随時実施。
- ・ 保育所体験を取り入れ、園児と地域の子ども・保護者との交流を図った。また園長が育児相談を受け、行事へお誘いし、一緒に保育園の雰囲気味わって頂いた。
- ・ 育児講座を行い、保育所の専門性を地域へも発信し支援を行った。
- ・ 図書館や児童館、あいキッズや中学校等、地域の様々な事業所と繋がりを持ち、イベントを企画、実施した。

### ③ 実習生・ボランティア

- ・ 保育士実習生：実員2名
- ・ 日本児童教育専門学校の学生見学を2名受け入れる。
- ・ 練馬工業高校からのインターンシップを2名受け入れる。

### ④ 第三者評価受審

利用者アンケートには約9割の家庭の協力がある。2022年度で取り組んで来た子ども主体の保育や異年齢児保育に対して共感の声を多く頂くようになり、保育内容への興味関心が高まっていることが読み取れる。評価機関からは、「子ども主体の保育を創造しチャレンジして運用できていることや、地域の子育て支援活動を充実させリピーターを増やしていることは、リーダー層の団結力と職員の貢献意欲の現れである」との講評を受けた。

## ひまわりキッズガーデン東雲

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任								令和5年4月1日の職員数			
	内 休 業 職 員	正 規 職 員	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	内 休 業 職 員	正 規 職 員	有期契約 職員		実 人 員 合 計
			常 勤	非 常 勤			常勤		非常勤					常 勤	非 常 勤	
							就	退	就	退						
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
副園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育士	9	4	0	13	0	2	0	1	1	1	-3	6	4	1	11	
看護師	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
用務員	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
その他	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
嘱託医	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
計	12	4	5	21	0	2	0	1	1	1	-3	9	4	6	19	

## 【施設運営状況】

2022年度は「子どもも保護者も職員も、明日が楽しみな保育園」を目指して、まずは子どもが楽しく園生活を過ごせるための保育環境を整えることに力を入れました。具体的な取り組みとして、乳児は保育室の見直しを行って子どもが自分から遊びを見つけて夢中になれるコーナーづくりをしました。幼児は2か月に1回外部講師に園に呼んで保育観察をしていただき、子どもが主体的に遊べる設定や環境づくりや展開の仕方を学んで実践に活かしました。子どもが明日を楽しみにすることで保護者は安心し、保育者は保育へのモチベーションを高めることに繋がったと思います。

また東雲の特色である広いプレイルームやねこ道などの施設環境を活かして、園内での運動遊びにも力を入れました。写真の掲示やコドモン配信、クラスだより、保護者会などを通して運動遊びによる子どもの育ちを定期的に伝えることで、保護者に保育内容の理解やお子さんの成長を感じていただくことが出来ました。

## 【利用者支援状況】

今年度は数年ぶりに小学校の体育館を借りての運動会、幼児の遠足など、コロナ前の行事を再開して保護者からも好評でした。日常の保育が行事に繋がっていくことをお伝えし、普段から保育の様子をコドモン配信や掲示で写真を添えて発信することで、保護者に子どもの心情やプロセスまで知っていただくことが出来ました。コドモンの導入により、乳児は連絡帳、幼児は毎日の活動内容、さらに園の運営のお知らせ配信に活用したことで、保護者の利便性に繋がっています。

地域活動は昨年度に続き、お散歩体験・土曜日の保育所体験を行って園生活の様子を知っていただくとともに子育てのお悩み相談やアドバイスも行いました。卒園児向けに保育所体験も行い、何度も申し込んで楽しそうな小学生の姿がみられました。

#### 【施設整備状況】

- ・ 新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防および脱臭のためオゾン生成器（レンタル）、換気のため園内数か所にサーキュレーターを設置
- ・ ゴキブリ防除作業（年2回）
- ・ 事業者によるトイレクリーニング・エアコンクリーニング
- ・ 調理室グリストラップ・排水管清掃
- ・ 電話機入れ替え
- ・ 更衣室換気扇および水道水栓修繕
- ・ 玄関オート扇風機新設工事
- ・ エアコン室外機移設架台設置工事
- ・ 厨房設備点検
- ・ 建築・消防設備点検

#### 【年間利用状況】（各月月初人員） 定員 96名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	42	42	42	42	41	41	41	42	42	42	42	42	501	41.75
女児	48	49	49	47	47	47	46	46	45	45	45	44	558	46.5
計	90	91	91	89	88	88	87	88	87	87	87	86	1059	88.25

#### 【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	9	12	15	20	18	17	91
R3年度	9	12	15	20	17	19	92
R4年度	9	12	14	18	20	13	86

## 【主なできごと】

## 月例 誕生日会・避難訓練

- 4月：入園式 保護者会 田植え (5歳児)  
 5月：こどもの日  
 7月：七夕 お楽しみ保育 (5歳児)  
 9月：引き渡し訓練 保護者会 稲刈り (5歳児)  
 10月：運動会 (3, 4, 5歳児)  
 11月：個別面談 乳児ふれあいデー  
 12月：幼児お遊戯会・クリスマス・もちつき  
 1月：個別面談 (5歳児)・保護者会 (0~4歳児)  
 2月：節分  
 3月：ひなまつり・幼児体操発表会・お別れ会・卒園式

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)	対応及び解決方法
1	4歳児母より 5月29日の登園時、園長に声がかかる。「2歳児の保護者が登降園時にずっと部屋の前にいて、中を覗き込んでいたり座り込んでいたりという姿が毎日のように見られる。コロナ禍にも関わらず、マスクを外していることもあり、子どもと戯れて長時間滞在しているのは目に余る。側を通るのにも正直邪魔である。」	その場で園長から保護者に「新入園児で朝は泣いてしまい保護者からなかなか離れない子のため、その点をご理解いただきたい。受け入れやお迎え時には保育者がフォローしていけるよう、職員全体で共有する」旨をお伝えした。すぐに昼礼で周知と共有をして、登降園時の受け入れと引き渡しへのフォローを行なうようにした。また、保護者の皆様に「新型コロナウイルス感染症対策として、速やかな登降園へのご協力をお願い」を掲示した。その後、4歳児母からの訴えはなかった。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。  
 津波対策としてマンション上層階への避難訓練  
 9月 引渡し訓練の実施

## ● 健康管理

園児：毎月 乳児健診・身体測定 (0歳児 2回) 年2回 全園児健診・歯科検診

職員：毎月 細菌検査の実施 年1回 定期健康診断・インフルエンザ予防接種

感染症の発症については掲示にて保護者に周知

## 感染症予防

- ・ 来訪者・保護者・園児は玄関前および玄関内棚上に設置してあるアルコールで手指消毒を行う。来訪者は玄関にて検温。
- ・ 園児：登園時午睡時の2回検温

- ・ 職員：出勤時と日中の2回検温・体調確認 マスク着用 新型コロナウイルスワクチン接種実施
- 衛生管理
  - 日常清掃の徹底
  - 保育室・事務所及び玩具等の消毒
  - 衛生係による衛生環境の改善提案・維持管理推進
  - 保育室・調理室・事務所の害虫駆除
- 安全管理
  - 施設設備点検（自主点検チェック・施設内外点検）（月1回）
  - 危険箇所の対策（コーナガード）
  - メッセージグレード・ヒヤリハットから再発防止と危険の未然防止を図る（安全管理係による取り組み推進）
  - SIDSの防止（睡眠チェックの徹底）
  - 園内研修（ガイドライン・マニュアル確認と読み合わせ）
  - 救急救命受講（全職員）
  - 不審者訓練実施
- ② 地域交流
  - 保育所体験（お散歩体験・保育園で遊ぼう）
  - 小中高生の育児体験、育児講座（離乳食講習会・親子体操）
  - マイ保育園事業実施・登録家庭への支援
  - 園見学の実施
- ③ 実習生・ボランティア
  - 栄養士実習受け入れ 12名（東京家政大学）
- ④ 第三者評価受審
  - 回答率67% 大変満足・満足94.9%

職員の明るさ・笑顔・挨拶への評価や、子どもが楽しく過ごしているなどの保育内容へのコメントを多くいただいた。また、園内でも身体を動かして遊べる設備が充実・水遊びや散歩など体力を使う遊びをたくさんしている、というコメントもみられた。改善の期待では、コロナ禍における戸外遊びや行事開催検討、子どもの様子の情報発信や伝達、職員接遇についてや同性職員によるトイレ介助への要望もあった。

## ひまわりキッズガーデン豊洲

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	内 休 業 職 員	正規職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	内 休 業 職 員	正規職員		実 人 員 合 計	
		常 勤	非 常 勤			有期契約職員		常 勤	非 常 勤						
						就	退					就	退		
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
副園長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
保育士	11(2)	3	3	17	0	0	0	0	0	0	0	9(2)	5	3	17
看護師	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	2	4	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3	4
嘱託医	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
計	18	3	5	26	0	1	0	0	1	0	0	15	5	6	26

## 【施設運営状況】

- ・ コロナ禍3年目ということもあり、感染対策を取りながら通常の保育活動が実施できるように取り組んできました。「歩育」の取り組みを取り入れたことで、各クラスが刺激し合いながら戸外での活動を取り入れて、保護者にもその保育の様子を発信するようになってきています。
- ・ 職員は、着実に経験を積み重ねてきた職員が増えてきたことで、一定のスキルを周りにも求めてしまいう事が増えてきています。多様性を活かした働き方への理解が次への課題になっていると感じています。
- ・ 一時保育を再開し、年間の登録者が80名を超える事で、一時保育としての認知度もあがり入園にも繋がっています。しかし、預かる体制を整えていかないと継続した事業にならず、各クラスの日常の保育の中に入れていただけでは、クラス担任の負担が大きくなる一方で、一時保育利用者に対しての安定的な受け入れには繋がらない所があります。地域の子育て家庭のニーズに応えるためにも職員体制の確保が必要になってきています。

## 【利用者支援状況】

- ・ 利用者との関係性は、ここ数年積み重ねてきたものもあり、安定してきています。コロナ禍での日常に向けて、保護者を巻き込んだ取り組みも少しずつ再開していくことで、歩育参加の参加者からは、「ここ数年、保育園での様子を子どもから聞くだけであったが、実際に体験して子ども達の成長を感じ、子どもと関わることが楽しいと感じた」という意見もあり、保育園の活動に参加すること

で親として育児への積極的な参加に繋がる様子も伺えています。

- ・ 地域の子育て家庭むけに毎週木曜日は園庭開放を実施しています。掲示板を見て、申込をしていた方も増え、リピーターの方も増えてきています。

#### 【施設整備状況】

- ・ 4,5歳児クラス床研磨作業
- ・ エアコン清掃
- ・ トイレクリーニング
- ・ 砂場清掃作業

#### 【年間利用状況】 (各月月初人員) 定員91名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	51	52	52	53	53	52	52	51	51	50	50	50	617	51.42
女児	35	35	36	35	35	34	35	35	35	36	36	36	423	35.25
計	86	87	88	88	88	86	87	86	86	86	86	86	1040	86.67

#### 【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	9	13	18	18	17	18	93
R3年度	6	13	18	17	17	18	89
R4年度	6	13	18	17	17	15	86

#### 【主なできごと】

##### 月例 誕生日会・避難訓練

- 4月：入園式
- 5月：端午の節句の集い
- 6月：個別面談
- 7月：七夕の集い、一日特別保育 (5歳児)
- 8月：夏祭り
- 9月：親子稲刈り遠足 (5歳児)、引き渡し避難訓練
- 10月：運動会、豊洲ハロウィンフェスティバル (5歳児)
- 11月：乳児クラス発表会・保護者会
- 12月：幼児クラス発表会・保護者会、もちつき
- 1月：個別面談
- 2月：節分
- 3月：ひな祭り、卒園式

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）		対応及び解決方法
2件	地域	園庭側の隣接マンションの住民の方から、園庭でかくれんぼしている際の保育士の声が大きくてうるさい。	電話にて謝罪をし、その場で職員に周知すると共に、昼礼にて全職員に共有。園庭で遊ぶ際の声の大きさに気を付けること。在宅で仕事をする方が増えてきた分、子どもの泣き声や保育士の声のトーンに対して会議にて振り返る場を継続して設けている。
	保護者	小学校の体育館で運動会をやった際に、校門が2つありどちらから入るのかわかりにくかった。	急遽、職員を両方の門に配置し、案内を立てる対策を行うことでご理解を頂く。また、次年度に向けて写真を貼って分かりやすいように周知することも伝え納得していただく。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施

津波対策としてマンション内上層階への避難訓練、引渡し避難訓練を年1回実施

## ● 健康管理

0歳児は毎月1回、1歳児以上は年に2回、職員は年1回健康診断を実施した。

職員は、毎朝の検温など職員同士で体調を確認しあい健康管理を徹底して行う。

インフルエンザ予防接種も実施。

新型コロナウイルスのワクチン接種に関しては、近隣病院と連携し職域接種の対応も行う。

職員の業務中の行動履歴も残し、新型コロナウイルスへの対策も行う。

## ● 衛生管理

新型コロナウイルス予防のために利用者には、アルコール消毒を活用して手指消毒を行う。玄関にはサーマルカメラを設置し、登園時には体温を確認して貰ってから入室をする。

玩具は午前午後と活用するものを分け、電解水、玩具消毒器にて消毒を行う。

## ● 安全管理

施設設備点検（月1回）

保育環境の整備

## ② 地域交流

- ・ 近隣保育園との交流活動（Zoomを活用）
- ・ 運河ルネッサンス協議会に参加（行事の開催はなし）
- ・ 豊洲商友会主催、豊洲ハロウィンフェスティバルにマーチングにて参加
- ・ 園庭開放、見学会などの地域親子向けの行事を計画、実施
- ・ 保幼小中連携教育の研修や交流に参加（Zoomで開催）

③ 実習生・ボランティア  
有明教育芸術短期大学 2名

④ 第三者評価受審

「歩育」を通して職員同士が共通の目的に向かって話をする機会を設けることで、子どもの発達、主体性、心情、興味関心を尊重した保育実践が出来始めている。今後は、その状況を保護者や地域に発信していくことで、保護者支援へと繋げていけるようにすると良い。

## ひまわりキッズガーデン志村

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	内、休業職員 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	内、休業職員 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
副園長	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
保育士	10 (1)	0	7	17	1	4	0	0	1	2	-4	6	0	6	12
看護師	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
嘱託医	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	12	0	13	25	1	4	0	0	1	2	-4	8	0	11	19

## 【施設運営状況】

- ・ 新入園児10名を迎え定員でのスタートとなりました。職員も産休から2名が復帰し、役割の明確化や新たなパートナー作りに力を入れた1年でした。非常勤職員の協力も得ながら、子どもも大人も志村にいれば楽しいが見つかる状態を目指し取り組んできました。
- ・ 複合施設の保育園としてその良さを職員が認識し理解することで複合施設「私の時間」での関わりを日常的に持つ事の意味を理解出来るようにしています。子どもにとってだけではなく、高齢者さんにとってどのようなメリットがあるのかまで考え、複合施設だからこそ育つ子供の姿などを職員と話し合い日常の保育に取り入れています。

## 【利用者支援状況】

- ・ 今年度も“ひまわりの保育”の画に基づいて、各年齢の姿や発達を保護者に伝えて参りました。園での子どもの様子や家庭での子育てについても個別面談にて話す機会を設けています。子どもの育ちを大切にしながら、見通しを持って子育てができるよう、年齢による発達や育ってくる姿を話し、一人ひとりの育ちを家庭と共有できるようにしてきました。第三者評価の結果にも結び付いていると感じております。
- ・ 作品展や運動会、保育参加など、保護者の方が参加出来る行事も再開し、普段の子どもの様子を知る良い機会になったと保護者の方からも喜びの声が聞かれています。園と家庭のつながりが深まるきっかけにもなっています。

**【施設整備状況】**

- ・ トイレクリーニング
- ・ エアコンクリーニング
- ・ 門扉修繕
- ・ 保育室網戸の取り換え工事

**【年間利用状況】** (各月月初人員) 定員54名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264	22
女児	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384	32
計	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	648	54

**【利用者状況推移】** (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	6	8	10	10	10	10	54
R3年度	6	8	10	10	10	10	54
R4年度	6	8	10	10	10	10	54

**【主なできごと】**

## 月例 誕生日会・避難訓練

4月：入園進級お祝い会（新入園児・保護者と幼児クラス）

5月：こどもの日

6月：個別面談

7月：七夕・一日特別保育

8月：夏祭り（高齢者施設との交流）

9月：保護者会・稲刈り遠足（5歳児）

10月：運動会

11月：作品展・個別面談

12月：お遊戯会・クリスマス会・もちつき会

1月：個別面談（5歳児）

2月：節分集会

3月：ひな祭りの会・保護者会（5歳児）・お別れ会・お別れ遠足（5歳児）・卒園式

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
1件	保護者 連絡帳にて3歳児母より「英語の時間に洋服に付けるバッジが原因で洋服に穴が開いてしまうのが気になる。子どもが気になって触るので破れてしまうのではないかと心配している」という内容の相談を受ける。	メッセージを頂いた日に母と担当が話をする時間をつくり謝罪する。少し時間を頂き、針を通すタイプではなく、洋服にバッジを挟むタイプのものに変更する事で納得していただいた。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

合同避難訓練の実施 年2回（複合施設「ここから」として建物全体での実施）

9月 引渡し訓練の実施

## ● 健康管理

園児：毎月乳児健診、年2回全園児健診、年2回歯科検診、毎月身体測定（0歳児2回）

職員：年1回定期健康診断・インフルエンザ予防接種、毎月細菌検査の実施、

健康管理には最善の注意を払い、感染症の発症については掲示にて保護者に連絡

コロナウイルスが流行し始めた際には、玄関の手指消毒を再度徹底するよう保護者に呼びかけ、入室前の手指消毒（アルコールを使用）を徹底している。

職員新型コロナウイルス予防接種（職域接種による）

## ● 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を実施。

保育室及び玩具等の消毒、コロナウイルスの流行り始めには施設の消毒状況を徹底する。

室内害虫駆除及びネズミ駆除（年2回）

オゾン発生器設置（新型コロナウイルス感染症対策、空気清浄効果）

玄関に大人用手指消毒アルコールの設置

非接触体温計の設置

## ● 安全管理

施設設備点検（月1回）

保育環境の整備（施設内の壊れ、安全クッション、ガード）

事故防止：メッセージグレード、ヒヤリハットを活用した再発防止・ケース検討

SIDSの防止（午睡時睡眠チェック）

## ② 地域交流

- 公園でのスタンプラリーや、0歳児クラスでの保育園体験など、参加者は少なかったですが、徐々に地域支援を復活させています。作品展など地域の方の行事への参加を通して地域の中にある保育園として役立てるように取り組んでいます。

③ 実習生・ボランティア

職業体験実習（1校・1名）/保育実習（2校・2名）/見学実習（1校・2名）

職場体験 練馬工業高校からインターンシップを1名受け入れる。

実習校 有明教育短期大学・学校法人 大原学園からの実習生の受け入れ

実習校 日本児童教育専門学校からの見学実習2名受け入れ

④ 第三者評価受審

保護者分の回収率が昨年より多く 96.3%でした。自由コメントでは、職員の子どもへの接し方や保護者への丁寧な対応、異年齢児との交流や子どもの成長を考えた様々な活動の他、保護者の相談対応などを評価する声が寄せられています。

改善面や質問点については、園だよりにて回答するなど対応しています。

## ひまわりキッズガーデン有明

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	(内 休業 職員数)	正規職員		計	正規 職員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人員 合計	
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退		
															常勤
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
副園長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
保育士	12	2	2	16	0	5	0	2	0	0	-7	7	4	1	12
看護師	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	-1	0	0	1	1
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	4	0	0	0	0	1	2	-1	0	0	3	3
嘱託医	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2
計	15	2	8	25	0	6	0	2	1	2	-8	9	4	7	20

## 【施設運営状況】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の対策も徐々に緩和され、少しずつ年間行事も実施できるものが増えました。昨年度のような休園となるような事態もなく、感染症対策の中で何ができるか考え取り組んでまいりました。運動会は近隣の有明小学校体育館をお借りし、4・5歳児での開催ができました。
- ・ 地域の子育て支援として一時保育は昨年度11月の再開から徐々に運営状況を拡大し、2022年度は4月より利用者受付を進めてまいりました。延べ登録者数は50名を超え、地域に欠かせないサービスとして認知されていると感じております。
- ・ 1歳児20名という大幅な定員変更を経て、各クラスの保育環境の見直しを進めてまいりました。まだまだ保育室の使い方や職員の配置等、改善の余地はありますがチーム保育の在り方を考える機会として前向きに取り組んできました。

## 【利用者支援状況】

コロナ禍にあり、園内への入室制限をしていたため、保護者の皆さまからは「園内の様子が見えない」というお声を多くいただいていた。行事の再開に合わせ、保育参加も再開し多くの保護者の皆さまにお越しいただくことができました。参加された方からは「子どもからも先生からも話には聞いていたが、実際に園での我が子の様子を見ることができ良かった」「保育園最後の年にやっと保育参加ができて良い思い出になった」などのお声をいただいております。

在園児のお父様を集めての座談会「パパ会」を実施しました。土曜日の開催でしたが、多くのお父様にご参加いただき、2部開催となりました。この機会にお父様同士のつながりが生まれ、子育ての悩みを話し合える関係作りに貢献できました。また、このパパ会の反響から、保護者会でも保護者同士が話をする時間を設けた会を実施いたしました。こちら「コロナ禍で希薄になっていた保護者同士の関係作りに大変ありがたかった」等のお声をいただきました。園と保護者だけでなく、保護者同士の交流を深められよう取り組んでまいりました。

### 【施設整備状況】

- ・園庭砂場管理作業（年間 砂補充1回・消毒2回）・トイレクリーニング・園庭植栽地年間管理
- ・ゴキブリ防除作業（年2回） ・エアコンクリーニング ・防犯カメラ設置
- ・経年劣化による設備破損個所の修繕（床研磨修繕、排煙窓オペレーター、厨房設備）

### 【年間利用状況】（各月月初人員） 定員122名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	56	60	60	60	60	61	61	61	62	61	61	61	724	60.33
女児	47	48	48	48	48	49	49	49	50	49	49	49	583	48.58
計	103	108	108	108	108	110	110	110	112	110	110	110	1307	108.92

### 【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	9	14	23	24	23	22	115
R3年度	0	19	19	24	26	25	113
R4年度	0	20	24	15	25	26	110

### 【主なできごと】

#### 月例 誕生日会・避難訓練

4月：入園式、保護者会、5歳田植え遠足

5月：こどもの日、1・2歳個別面談、1・2歳親子ふれあいデー

6月：歯科検診、3・4・5歳個別面談、全園児健康診断

7月：七夕、5歳児特別保育

8月：水遊び開始

9月：引き渡し避難訓練、保護者会、5歳親子稲刈り、3歳親子ピクニック

10月：幼児運動会

11月：1・2・3歳お遊戯会、全園児健康診断

12月：4・5歳お遊戯会、全園児歯科検診、クリスマス、もちつき

1月：3・4・5歳個別面談

2月：節分、1・2歳個別面談

3月：ひなまつり、お別れ会、卒園式、2～5歳ピクニック遠足

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）		対応及び解決方法
2件	地域の 方より	2歳児、散歩の途中で歩けない子どもに対して、「ちゃんとして」と声をかけしゃがみ込む子を引っ張り立たせようとする。その様子を見た地域の方が江東区へ通報。江東区指導係より園に電話が入る。	当日のうちに職員と事実確認。散歩時の焦りからの言動として、言ってしまったかもしれないとのこと。該当児が気になる子でもあった為、該当クラス職員と体制の確保の仕方について話し合い、一対一で対応できる体制作りと、それが難しいのであれば散歩に出ない等の保育内容の変更を含む柔軟な対応をするように指導。またその変更を主任・園長と確認し実施する。
	保護者 より	娘が特定の職員から過度なスキンシップがあり、保育園に行くことを嫌がっている。当該職員にやめさせるよう注意をしてほしい。	当該職員への聞き取り及び、全職員へ聞き取り調査を実施。 当該職員は当面の間、出勤を控え自宅待機調査内容を当該園児保護者へ説明と謝罪。年齢に合わせたスキンシップの在り方について職員研修を実施すること、子どもとの関わり方についてチームで話し合う、振り返る事で、不適切な保育を起こさないチーム作りを進めることを保護者へお伝えし、ご理解を得る。 全ご家庭対象に緊急保護者会を開催。 男性職員に対して、園児とのスキンシップの取り方について研修を実施。 全職員に対して事案の共有と今後の対応方法について職員会議にて話し合う。一人で対応しない、気になることは発信する。等の危機管理を共有。また、子どもの人権について人権擁護チェックリストを元に各自がセルフチェック。結果をチームで共有することでお互いの困っていることや、助けてほしい場面など、より具体的な保育の現場での協力ポイントを話し合う。 全保育室に防犯カメラを設置。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回、避難訓練・消火訓練・通報訓練を実施、9月引き渡し避難訓練の実施

## ● 健康管理

園児：毎月身体測定、年2回全園児健康診断、歯科検診、

職員：年1回定期健康診断、インフルエンザ予防接種、毎月細菌検査の実施、毎日健康チェック  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため職員のマスク着用、職員・園児共に1日2回の検温、希望者へのワクチン接種協力

- 衛生管理
  - 危険個所、施設の衛生管理について点検・整備を実施
  - 保育室及び玩具などの消毒の徹底
  - 感染症拡大防止のため常時室内換気
  - 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（保育所における感染症ガイドラインに基づく対応）
  - オゾン発生器設置（新型コロナウイルス感染症対策、空気清浄効果）
  - 玄関に手指消毒用アルコールの設置
  
- 安全管理
  - 施設内施設外点検（月1回）
  - 保育環境整備（施設内修繕）
  - メッセージグレード・ヒヤリハットの共有、再発防止に努める
  - SIDSの防止（午睡時睡眠チェック 1歳児…10分間隔、2歳児～5歳児…15分間隔）
  
- ② 地域交流
  - ・ 入園希望者の見学実施
  - ・ 一時保育事業
  - ・ 保育所体験
  - ・ 有明クリーン作戦参加（江東区有明子ども家庭支援センター主催のごみ拾い）
  
- ③ 実習生・ボランティア
  - 中学生の夏季ボランティア体験（二日間1名）
  
- ④ 第三者評価受審（10月実施）

利用者総合評価は、満足と大変満足を合わせて94.7%という評価を受けました。

昨年度と回収率は68%（昨年度67%）と変わりありませんが、満足度は上昇しています。

アフターコロナ、ウィズコロナ対策・対応が評価に繋がっているようです。

一方で、大変不満というご回答が1名の方からありました。アンケート結果を真摯に受け止め、今後も更なる保育の資質向上に努めたいと思います。

## ひまわりキッズガーデン有明の森

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数					
	内 休 業 職 員 数	正 規 職 員		計	正 規 職 員	有 期 契 約 職 員				計	内 休 業 職 員 数	有 期 契 約 職 員		実 人 員 合 計		
		常 勤	非 常 勤			就	退	就	退			就	退		常 勤	非 常 勤
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
副園長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
主任	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
保育士	8	4	2	14	0	0	0	0	0	0	0	9	2	2	13	
看護師	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0	4	5	0	1	1	1	0	0	-1	0	0	3	3	
嘱託医	2	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
計	14	4	8	26	0	1	1	1	0	0	-1	12	2	7	21	

## 【施設運営状況】

- ・ 体制に大きな変更は無く各々が役割を担い行動できるようになってきているが、産休や病気による職員の休職から職員の体制が不安定となりました。その中で、職員がどのようなことに困っているのかをリーダー層が聞き取りをしながら業務負担の軽減につながる取り組みを行いました。
- ・ 園外へのバス遠足や運動会など感染対策を行いながら徐々に日常へ近づける取り組みを行った。
- ・ 園児数ではリモートワークの増加から都外への引っ越しや特徴のある幼児園やインターナショナルスクールへの転園など退園の変動が大きく、定員数を一定に満たすことが出来なかった。
- ・ 8月～12月にかけて新型コロナウイルスが流行し、5人以上罹患が発生した場合は区内保健所による濃厚接触者判定を受け一定期間、ご自宅での健康観察をお願いすることがあった。

## 【利用者支援状況】

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら対面での個別面談を実施。面談を通してひまわりの保育について伝えながら今の様子や今後の見通しなどを伝えたことにより子ども達の様子を知ることができて安心したなど声が聞かれました。職員が日々のコミュニケーションを大切にしてきたことで保護者との信頼関係が築けていることを感じています。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら小学生の保育士体験を開催。少人数、短時間ではあったが「楽しかった」との声が聞かれた。地域に向けて保育所体験や園庭開放を定期的に行い、散歩の楽しみ方やポイントを知る機会となったとの声が聞かれています。

**【施設整備状況】**

- ・ 砂場の砂補充および抗菌作業
- ・ トイレクリーニング
- ・ インターホン交換工事
- ・ エアコンクリーニング

**【年間利用状況】** (各月月初人員) 定員117名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	47	50	50	51	53	53	53	55	55	54	54	54	629	52.42
女児	54	54	54	53	54	54	55	55	55	55	55	55	653	54.42
計	101	104	104	104	107	107	108	110	110	109	109	109	1282	106.83

**【利用者状況推移】** (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	9	15	23	24	24	22	117
R3年度	6	14	23	18	23	23	107
R4年度	6	15	24	23	18	23	109

**【主なできごと】**

## 月例 誕生日会・避難訓練

- 4月：入園式
- 5月：こどもの日の集い、幼児個別面談週間
- 6月：乳児個別面談週間
- 7月：七夕の集い、一日特別保育（5歳児）
- 8月：水遊び
- 9月：稲刈り遠足（5歳児親子）、敬老の日（プレゼント制作、はがきを送る）
- 10月：運動表現発表会（3歳～5歳児）、芋ほり遠足（4歳、5歳児）
- 11月：乳児触れ合い発表会
- 12月：幼児生活発表会、もちつき
- 1月：5歳児個別面談、乳児個別面談週間
- 2月：節分、乳児・幼児個別面談
- 3月：おわかれ会、お別れ遠足（5歳児）、卒園式

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）		対応及び解決方法
2件	9月	4歳、5歳児の親子芋ほり遠足の予定であったが新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から4,5歳児園児の芋ほりに変更になり保護者の方より「感染者数が減少しているになぜ親子遠足ではないのか？」とご意見を頂く。	4歳、5歳児の保護者向けに区内の感染者数が減少傾向とは言えない状況になること、長時間のバス移動、食事を共にすることで万が一、罹患が発生した場合、多くの保護者が濃厚接触者となり社会生活に影響がでることが懸念される。しかし、園外保育を通して社会性や自然の中での体験は子どもたちの成長中で大切なため職員と子ども達だけの開催に変更したことをコドモンの配信にてお知らせしご理解いただいた。
	12月	園内にて新型コロナウイルスの罹患が増加し、江東区および保健所の濃厚接触者判定を行い。濃厚接触者となった園児のご家庭にご自宅での健康観察を依頼した際に他の区では濃厚接触者の基準が緩和されているのにも拘わらず休まなければならないのか？と疑問の声を頂く。	濃厚接触者の判定は区によって対応に違いはあるが江東区では園で5人以上罹患が発生した場合には感染が拡大する可能性があることから保健所による濃厚接触者判定を行っていることをお伝えした上で、お仕事のお忙しい中で申し訳ないが一定期間ご自宅での安静にご協力をお願いしご理解頂く。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施、年1回引渡し避難訓練、不審者対応訓練を実施した。

## ● 健康管理

0歳児は毎月、1歳児以上は年2回、職員は年1回健康診断を実施した。

園児は朝と午後の2回の検温など体調を把握。健康管理を徹底して行う

職員は、1日2回の検温など職員同士で体調を確認しあい健康管理を徹底して行う。

新型コロナウイルスワクチン接種（任意での接種）

## ● 衛生管理

アルコールを使っての手指消毒を職員、保護者、園児に対して実施。また、園内の清掃にも電解水、アルコールを利用し感染症予防に努めるとともに、オゾン発生装置、加湿付き空気清浄機の設置、保護者への予防対策のお願いを行う。

## ● 安全管理

保育所内外の安全点検を月1回実施。

設備点検など地域の諸機関の協力のもと安全指導を実施した。

## ② 地域交流

園庭を使った保育所体験に参加して頂き、交流を深めた。

## ③ 実習生・ボランティア

希望者なし

④ 2022年度第三者評価受審

第三者評価に関しては回答率が61%と昨年度より7%回答率が下がり、うち95.6%の方から満足と評価を頂きました。保護者からは職員が積極的に子どもたちに関わろうとして下さり家ではできない体験をたくさんさせて頂き感謝しているとお声を頂いております。

## ひまわりキッズガーデン城山

## 【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数					
	(内 休業 職員 数)	正 規 職 員	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員 数)	正 規 職 員	有期契約 職員		実 人 員 合 計
			常 勤	非 常 勤			常勤		非常勤					常 勤	非 常 勤	
							就	退	就	退						
園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
副園長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育士	7	2	1	10	2	2	0	2	3	0	1	7	0	4	11	
看護師	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
用務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0	5	6	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6	6	
嘱託医	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	10	3	7	20	2	3	0	2	4	0	1	9	1	11	21	

## 【施設運営状況】

## ○利用者・地域

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながらも、ウィズコロナを念頭に徐々に行事等を再開していく1年間でした。保育参加を再開し、日常の保育の様子を保護者に見てもらい機会を設けたほか、3年ぶりに稲刈り体験として茨城県のあすなろの里に親子一緒に行くことが出来ました。運動会についても姉妹園である大原園や志村園と一緒に合同で行うことができ、近隣地域に住む同年代のお子さんを育てている保護者同士がつながるきっかけとなっています。卒園式についても、1家族3名までの参観を可能とし、卒園児が巣立っていく姿を両親と兄弟姉妹がお祝いすることができたことから大変喜ばれました。感染症の動向を見極めながらも、保護者と園児が一緒に過ごせる機会を増やせるように考えて保育サービスに取り組んできました。

## ○職員

2022年度は、「静かできれいな保育園」になることをあるべき姿に掲げ、職員同士の迷いからくる質問を減らすよう(「静かで」)に整備と、園内の清掃を進めて(「きれいな」)まいりました。その結果、保護者からも第三者評価の利用者アンケートにて「園内は清潔で整理された空間か?」という問いに対し94%(前年88%)の方からきれいとの評価をして頂きました。職員同士でも迷いが少なくなった影響から効率的に業務が行えたため昨年に比べて残業時間が減少、有給休暇の取得日数も昨年対比143%と増加するなど一定の成果を得ることが出来ました。

**【利用者支援状況】**

- ・ 次世代育成支援として地域の小学生や高校生を受け入れ職場体験や育児体験の場を設けました。
- ・ 利用している保護者に対しても、個別面談や保護者会を行い園の様子や情報を発信しています。保護者会を対面で行ったこともあり、保護者同士の交流と園と保護者との連携を深めて参りました。

**【施設整備状況】**

- ・ トイレ/換気扇/エアコンクリーニング
- ・ 厨房設備修繕
- ・ 園庭樹木剪定
- ・ 排水管高圧洗浄

**【年間利用状況】** (各月月初人員) 定員 60名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	33	33	33	33	33	33	34	34	34	34	34	34	402	33.50
女児	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	311	25.92
計	58	59	59	59	59	59	60	60	60	60	60	60	713	59.42

**【利用者状況推移】** (各年度3月1日現在)

年度	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R2年度	12	12	11	12	12	59
R3年度	12	12	12	12	11	59
R4年度	12	12	12	12	12	60

**【主なできごと】**

月例：誕生日会・避難訓練・保育参加

4月：入園式 (1歳児のみ)

5月：保護者会

6月：個別面談 (1~4歳児)・歯科検診・全園児健診

7月：七夕・一日特別保育・個別面談 (5歳児)

8月：水遊び

9月：引き渡し訓練

10月：3園合同運動会

11月：個別面談 (1~4歳児)

12月：クリスマス会・餅つき・個別面談 (5歳児)・全園児健診

1月：お遊戯会

2月：節分・保護者会 (3~5歳児)・ひまわり食堂・新入園児入園説明会・歯科検診

3月：保護者会 (1~2歳児)・お別れ遠足・お別れ会・卒園式・新入園児健診

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
1件	2歳児 保護者 園児が帰宅後、保育士に胸を押されて痛いと訴えている。当該保育士だけでなく、他職員にもしっかり状況をヒヤリングし、真意を伝えてほしい。	不愉快な思いをさせてしまっていることの謝罪と、園で本児と関わった職員に聞き取りのうえで改めてお伝えすると約束をした。 後日、職員間でその日の児の様子を確認しその結果を母に伝え、当該保育士が胸を押した事実はないことを伝えた。今後も当該保育士に限らず保育者と園児が一对一での関わることを極力減らし、保育現場で何かあった場合には複数の保育者で振り返ることができる体制をとることを保護者に伝え理解を得た。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施

9月 引渡し訓練を実施

## ● 健康管理

園児：年2回 全園児健診 ・ 年2回 歯科検診

毎月 身体測定

日々の検温（毎日2回：午睡前、午睡明け）を行い、園児の体調把握を行う

予防接種の呼びかけを行い、事前に感染症拡大を防止する。

感染症が発症した場合・疑いがある場合には、事務所で安静に過ごす。

職員：年1回 定期健康診断 ・ 毎月1回 細菌検査

年1回 インフルエンザ予防接種

職域接種による新型コロナウイルス感染症予防接種

出勤時、昼食後の検温、体調報告、勤務中のマスク着用

## ● 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行う

保育室や玩具などの消毒を行う

トイレクリーニング

エアコンクリーニング

室内害虫駆除（年2回）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（保育所における感染症ガイドラインに基づき対応する）

オゾン発生器設置（新型コロナウイルス感染症対策、空気清浄効果）

玄関に大人用手指消毒アルコールの設置

## ● 安全管理

施設設備点検（月1回）

保育環境の整備（安全ガード、クッションなどを設置）

ヒヤリハット、メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める

SIDSの防止（午睡時睡眠チェック 1歳児～2歳児…10分間隔、3歳児～5歳児…15分間隔）

② 地域交流

- ・ 入園希望者の見学実施
- ・ 小学生の保育士体験

③ 実習生・ボランティア

職業体験実習（2校・4名）/保育実習（2校・2名）/見学実習（1校・2名）

職場体験 練馬工業高校からインターンシップ2名受け入れ

北豊島工業高校からインターンシップ2名受け入れ

実習校 有明教育芸術短期大学から実習生1名受け入れ

川口短期大学から実習生1名受け入れ

見学実習 日本児童教育専門学校からの見学実習2名受け入れ

④ 東京都福祉サービス第三者評価受審（12月実施）

利用者本位のサービスを提供すること、またサービスの資質向上のため利用者アンケートを実施、また職員アンケートも行い事業所の状態をアセスメントする機会となった。

利用者アンケートでは、98.1%の家庭が当園の保育サービスに満足していると回答して下さり、今後も更なる保育の資質向上に努めていきたいと思っております。